

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【5班】

地 区 コ ミ	藺牟田地区コミュニティ協議会			参加人員	2 4 人	
開 催 日 時	平成25年 5月24日（金） 19：00～20：45					
開 催 場 所	藺牟田地区コミュニティセンター					
出 席 議 員 （ 担 当 ）	議 員 名	出欠	担 当	議 員 名	出欠	担 当
	川畑 善照	○	司会進行	持原 秀行	○	記録・報告書作成
	杉藪 道朗	○	議会活動報告	帯田 裕達	○	
	永山 伸一	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 藺牟田温泉の活性化について

《意見交換の概要》

- ◆ 地域活性化については、人に住んでもらうことが一番であると考え。空き家バンク制度などを活用しながら、市の職員に住んでもらうこととできないか。
 - ◇ 市の職員については、人員削減により年々減少傾向にあり、なかなか難しいと考える。
 - ◆ 地元の火曜倶楽部（18人）で地域づくり、まちづくりを考えているが、周辺との連携など良い方策があれば示してほしい。
 - ◇ 人を地域外から呼び込む施策、地域おこしの仕掛けが重要となる。火曜倶楽部としても、出来ること、できないこと様々あるが、まちづくり懇話会などでも具体的な提言等をして頂きたい。
- 地元が危機感を持って、いかに頑張るかにかかっている。まずは実行することが大事である。実行しないと何事も始まらない。市比野温泉活性化協議会（60人の会員）など他地区との交流・学習することが大切である。互いに連携しながら活性化を図っていったら良いのではないかな。

2 県立自然公園藺牟田池について

《意見交換の概要》

- ◆ 観光・藺牟田池に対する捉え方について、どのように考えておられるのか伺いたい。
- ◇ 市の観光に対するスタンスは、川内川・甕島・藺牟田池であると考えている。祁答院地域を売り込む方策としては、観光の目玉を作るべきである。年間を通じた活用のやり方、単発で終わっている状況の各種イベントとの連携、グリーンツーリズムなどへの取り組み等、いずれにしても地元の盛り上がり、民間の努力が必要と考える。
- ◆ いこいの村いむた池の位置付けや、将来の見込みについてどのように捉えているのか。
- ◇ 民間譲渡の方向であり、廃止するのではない。今まで通りの運営を民間へ託して行くことである。行政運営では活用しきれない。民間活用・活力を入れなければ、ノウハウを持った会社が参入し多面的に活用して頂くことで、より良い方向へ行くものと考え。効率的運営を民間に委ねていくものである。

3 祁答院地域（藺牟田地区）の活性化について

《意見交換の概要》

- ◆ 他地区コミの中での印象深い計画や、藺牟田地区の活性化について議員の考え方を聴かせていただきたい。

- ◇ 蘭牟田地域は観光に関するものは全て整っていると思う。一次産業の農産物、ゴルフ場やホテルとの協力連携などの方法もある。点と点でなく横との連携を十分取って行くべきである。活性化については、地元が一生懸命、真剣に捉えるべきであると考え。何をするにも地元努力が一番であり、コミ協等を中心に地元の人達と詳細な作戦を練り上げることが重要であると考え。
- ◇ 地区コミの取り組みについては、大馬越地区のしそジュース、峰山地区、寄田地区コミの地元産さつま芋を原料とした焼酎を販売し、その収益による地区コミュニティ協議会の活動資金確保など、市内各地区コミそれぞれ、地域活性化を図るためにアイデアを出しあいながら活動をされておられる。
- ◆ 農地の荒廃対策、特に排水対策をしなければ荒れ地が増加する。排水の良い水田を作って行くべきと考える。耕地が悪いと借り手もない為に耕作放棄地が増える。この状況を解決する方策はないか。
- ◇ 中山間地域事業を入れながら農地、水、事業の活用、あるいは市の事業においても暗渠排水工事も実施している。地元負担も生じるが、荒れ地が拡大して行くと集落の衰退に繋がるので大切なことであると考え。支所を通じて対応をして頂きたいと思う。

4 その他

《要望等》

- ◆ この地区は、高齢者が増加している。日常的な活動としてゲートボールが楽しみであるが、雨天時はできない。入来、東郷、樋脇、川内の4地区には全天候型のドームがある。若い人たちにもテニスとか運動ができる施設である全天候型ドームの建設をお願いしたい。
- ◇ 地元で作れる状況等、土地なども含め努力して頂きたい。その上で地区コミとしてまとめられ要望して頂ければと思う。